

内令第千八百二十二號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艇、哨戒艇ノ部中

第四十六號

ヲ

第百一號	第四十六號
------	-------

ニ改ム

(内令提要卷三、四二頁参照)

内令第千八百二十三號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一六四三

1649

内令

一六四四

驅逐艦二等ノ部中「睦月型」ヲ「卯月型」ニ改メ同項中「睦月」ヲ削リ、同吹雪型ノ項中「朝霧」ヲ削ル

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第千八百二十四號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十驅逐隊ノ項ヲ削ル

第三十驅逐隊ノ項中「睦月」ヲ削ル

第三十一驅逐隊ノ項中「卷波」ヲ下ニ「高波」ヲ加フ

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第千八百三十五號

横須賀鎮守府豫備驅逐艦

1650

右警備驅逐艦ト定メラル

昭和十七年十月一日

驅逐艦 山 雲

吳鎮守府豫備驅逐艦

驅逐艦 夕 霧

驅逐艦 白 雲

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千八百二十六號

吳鎮守府在籍

驅逐艦 朝 霧

佐世保鎮守府在籍

驅逐艦 陸 月

右帝國驅逐艦籍ヨリ除カル

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一六四五

1651

内令

一六四六

内令第千八百二十七號

右特設巡洋艦トシ吳鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

汽船 金龍丸

汽船 唐山丸

右特設砲艦トシ佐世保鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千八百二十八號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

汽船	船名	特設艦船種別	所管
唐山丸	唐山丸	特設運送船(雜用船)	佐世保鎮守府

内令第千八百二十九號

昭和十七年内令第千二百二十號別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部横須賀防備隊ノ項哨戒艇ノ欄「第二號」ノ次ニ「第百一號」ヲ加フ

參照 昭和十七年内令第千二百二十號ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令第千八百三十號

昭和十七年内令第六百五十八號別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「厦門警備隊」ヲ「厦門方面特別根據地隊」ニ改ム

(昭和十七年内令第六百五十八號ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ)

内令

一六四七

1653

内令第千八百三十一號 (所要ノ向ヘ配付)

内令第千八百三十二號 (所要ノ向ヘ配付)

内令第千八百三十三號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍病院定員表其ノ一ノ三ヲ別表ノ如ク定ム

(別紙一葉添)

(内令提要卷一、二五五頁参照)

内令第千八百三十四號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一六五三

1654

内令

一六五四

特修兵配置表其ノ二備考第六號中「掌衣糧兵、高一ヲ、」ノ下ニ「岩國及大村海軍病院ニ各掌經理兵（高）一及掌衣糧兵、普一ヲ、」ヲ加フ

（内令提要卷一、四五二頁参照）

内令第千八百三十五號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

- 一等驅逐艦定員表其ノ一中「睦月、」ヲ削リ同表備考第四號中「睦月型」ヲ「卯月型」ニ改ム
- 一等驅逐艦定員表其ノ二中「朝霧、」ヲ削ル

（内令提要卷一、四一八ノ三八頁参照）

内令第千八百三十六號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

1655

計		附	部員				看 護 特 務 中 少 尉	海軍病院定員表 其ノ一ノ三			
特務士官	士官		軍醫少將、軍醫大佐	軍醫中少佐	軍醫大中佐	軍醫大中佐		藥劑部長	藥劑中少佐	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫科尉官
二人	十一人	二	一	三	二	一	一	一	一	一	岩國、大村
兵	判任文官	下士官	准士官	主計兵	看護兵	書記	主計兵曹	看護兵曹	主計兵曹長		岩國、大村
三十六人	一人	十五人	一人	二	三十四	一	一	十四	一		



昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十四中「陸月、」及「朝霧、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四五二頁参照)

内令第千八百三十七號

海軍特別根據地隊ノ所管、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラレ

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府

香港方面特別根據地隊

香港

ヲ

横須賀鎮守府

香港方面特別根據地隊	香港
厦門方面特別根據地隊	厦門

ニ改ム

(内令提要卷一、三八ノ五頁参照)

内令

一六五五

1657

内令

一六五六

内令第八百三十八號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設警備隊定員表其ノ三中厦門ノ欄ヲ削ル

(内令提要卷一、五六四頁参照)

内令第八百三十九號

昭和十七年内令第四十二號中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍特別根據地隊職員表其ノ四中「青島方面」ノ下ニ「厦門方面」ヲ加フ

(昭和十七年内令第六百二十七號参照)

1658

内令第千八百四十號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

潜水艦基地隊定員表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、三三六頁参照)

内令第千八百四十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ三中潜水艦基地隊ノ項ヲ左ノ如ク改ム

内令

一六五七

1659



潜水艦基地隊定員表

(昭和十七年内令第千八百四十號)

考 備	計	隊 附	司令 大佐	副司令 中佐	水雷長 少佐	分隊長 少佐	分隊長 少佐	隊附 兵科尉官	機關長 兵科尉官	工作長 兵科尉官	分隊長 兵科尉官	分隊長 兵科尉官	軍醫長 軍醫少佐	分隊長 軍醫少佐	主計長 主計少佐	隊附 主計科尉官	特務中少尉	機關特務中少尉	工作特務中少尉		
			横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳	横須賀 吳
			兵曹長	機關兵曹長	工作兵曹長	主計兵曹長	兵曹	兵曹	兵曹	兵曹	兵曹	兵曹	兵曹	兵曹	水兵	機關兵	工兵	看護兵	主計兵	兵	兵
十六人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	
六十八人	百二十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	四十八人	

一 兵科分隊長ノ中一人ハ特務大尉ヲ以テ、機關科分隊長ノ中一人ハ機關特務大尉ヲ以テ補ス  
ルコトヲ得  
二 本表ノ外海軍定員令第三條ニ依リ海兵團ニ置クベキ下士官兵及補缺員中潜水艦關係員ヲ置クコトヲ得

内令第千八百四十二號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等驅逐艦定員表其ノ七中兵曹「四十三」ヲ「四十四」ニ、水兵「百十三」ヲ「百二十八」ニ、下士官「七十五人」ヲ「七十六人」ニ、兵「百八十五人」ヲ「二百人」ニ改ム

運送艦定員表其ノ八中兵曹「十」ヲ「十二」ニ、水兵「三十」ヲ「三十五」ニ、下士官「三十二人」ヲ「二十四人」ニ、兵「六十四人」ヲ「六十九人」ニ改ム

(内令提要卷一、四一八ノ五〇頁参照)

内令第千八百四十三號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一六五九

1662

内令

一六六〇

特修兵配置表其ノ十四中秋月、初月、照月ノ項掌砲兵及掌測的兵ノ欄

〇一〇三  
〇一〇三  
〇一〇三  
〇一〇三  
ニ、同掌機雷兵水測ノ欄  
一ノニ  
一ノニ  
ニ、同掌信號兵ノ欄  
三ノ一  
四ノ一

ニ、一四一ヲ一六一ニ改ム

特修兵配置表其ノ十九中大瀬ノ項掌砲兵ノ欄  
一ノ一  
一ノ二  
一ノ三  
一ノ四  
ニ改ム

(内令提要卷一、四五二頁参照)

内令第八百四十四號

大正九年内令第二百七十三號中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

哨戒艇乗員標準中「第四十六號」ノ下ニ「第百一號」ヲ加フ

同標準備考ニ左ノ一號ヲ加フ

三 本表ノ外第百一號哨戒艇ニハ機關兵曹一人及機關兵五人ヲ增加ス

(内令提要卷一、四五六ノ二四頁参照)

内令第千八百四十五號

昭和十七年内令第六百二十號中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

左ノ一號ヲ加フ

五、第百一海軍經理部長

参照 前記内令ハ大東亞戰爭中横須賀海軍港務部長等一級上級ノ官等ヲ各共ノ定員ト爲スコトヲ得ルノ件ナリ

内令第千八百四十六號

昭和十六年内令第千四十七號中左ノ通改正ス

昭和十六年内令第千四十六號別表佐世保鎮守府ノ部中睦月ノ項ヲ削ル

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表第一横須賀鎮守府ノ部中岩國海軍航空隊ノ項ノ次ニ

内令

一六六二

1664



内令

一六六三

三重海軍航空隊 三 一 一 一  
ヲ加フ

同吳鎮守府ノ部中徳島海軍航空隊ノ項ノ次ニ

築城海軍航空隊	一	一	一	一	一
三重海軍航空隊	一	一	一	一	一

ヲ加フ

同佐世保鎮守府ノ部中新竹海軍航空隊ノ項ノ次ニ

三重海軍航空隊	二	一	一	一	一
第七五海軍航空隊	一	一	一	一	一
第七五海軍航空隊	一	一	一	一	一

ヲ加フ

同備考第一號中「二人」ノ下ニ「三重海軍航空隊五人」

横須賀鎮守府在籍者 二人  
吳鎮守府在籍者 二人  
佐世保鎮守府在籍者 二人

ヲ加フ

別表第二吳鎮守府ノ部中金龍丸ノ項ヲ削ル

同佐世保鎮守府ノ部中唐山丸及第一航空基地隊ノ項ヲ削リ第十六設營隊ノ項ノ次ニ

第二十二設營隊 一 一 一 一 一 一  
ヲ加フ

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

1665



内令第千八百四十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海南海軍特務部

海軍警部 附 臨時百五十人

海軍教員 附 臨時百五十人

海軍巡查 附 臨時千三百人

海軍准教員 附 臨時百五十人

内令第千八百四十八號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時減員ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀、吳、佐世保潜水艦基地隊

内令

一六六三

1666

内令

一六六四

少佐、大尉 分隊長 二人

機關少佐、機關大尉 分隊長 一人

兵 曹、水兵 十人

機關兵曹、機關兵 六人 (掌機兵)

(掌機曹兵 掌信號兵 二二六)

内令第八百四十九號

昭和十七年内令第八百六十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

末尾ニ左ノ如ク加フ

第二五二航空隊	六
横須賀防備隊	三
紀伊防備隊	三

参照 前記内令ハ第三艦隊司令部等ニ氣象講習修了者ヲ臨時増置ノ件ナリ

1667

内令第千八百五十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府(川棚海軍工廠(假稱)設立準備員ニ充ツベキモノ)

少將、大佐 出仕 一人

造兵少將、造兵大佐 出仕 一人

兵科 佐官 出仕 一人

兵科、造兵科佐尉官 出仕 四人

軍醫科 佐尉官 出仕 一人

主計科 佐尉官 出仕 三人

技師 出仕 臨時四人

技手 附 臨時十五人

内令第千八百五十一號  
當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

一六六五

1668

内令

一六六六

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

廣海軍工廠（造機部）

機關大佐、造機大佐又ハ技師 部員 一人

技 師 部員 臨時一人

技 手 附 臨時二人

内令第千八百五十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第十一航空艦隊司令部

技 手 附 一人（氣象）

減員

1669

水路部

技手附 一人(氣象)

内令第千八百五十三號

昭和十七年内令第千三百五十號中「第四警備隊」ヲ「第二十四特別根據地隊」ニ改メ「本人員中特務士官以下ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス」ヲ削ル

同年内令第千三百五十一號中「第四警備隊」ヲ「第二十四特別根據地隊」ニ改メ増員ノ部ノ末尾ニ「本人員ハ佐世保鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス」ヲ加フ

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十七年内令第千三百五十號ハ第四警備隊ニ人員臨時増置ノ件  
同年内令第千三百五十一號ハ第四警備隊等ノ人員臨時増減ノ件

内令第千八百五十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

一六六七

1670

内令

一六六八

昭和十七年十月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府第五特別陸戦隊

特務中少尉、兵曹長	隊附	七人
機關特務中少尉、機關兵曹長	隊附	一人
工作特務中少尉、工作兵曹長	隊附	一人
兵曹、水兵		百二十三人
機關兵曹、機關兵		三十五人
工作兵曹、工作兵		三十一人
特修兵ハ適宜トス		

(横須賀鎮守府在籍者)

○正誤

本年内令第二百二十六號海軍檢定褒賞令施行規則第二條艦砲射撃優等章ノ優等章ヲ授與スベキ者ノ欄中「砲員長」ノ次ニ「彈庫長、火藥庫長、彈藥庫長、彈藥供給長」ヲ脱ス

1671

内令第八百五十五號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

潜水艦、一等伊百二十一型ノ項中「、伊號第百二十三」ヲ削リ同二等呂三十三型ノ項ヲ左ノ如ク改

呂號第三十四

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第八百五十六號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ三中「、第百二十三」ヲ削ル

内令

一六六九

1672



内令

一六七〇

二等潜水艦定員表其ノ一中「第三十三」ヲ削ル

(内令提要卷一、四一八ノ五八頁参照)

内令第八百五十七號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「第二百二十三」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十七中「第三十三」ヲ削ル

(内令提要卷一、四五四ノ二頁参照)

内令第八百五十八號

潜水隊編制中左ノ通改正セラル

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1673

第十三潜水隊ノ項中「、伊號第二百二十三」ヲ削ル  
第二十一潜水隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷二、七〇頁参照)

内令第千八百五十九號

吳鎮守府在籍

伊號第二百二十三潜水艦

佐世保鎮守府在籍

呂號第三十三潜水艦

右帝國潜水艦籍ヨリ除カル

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千八百六十號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

内令

一六七二

1674

内令

一六七三

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

呂號第三十四潜水艦

呂號第百潜水艦

看護兵曹、看護兵

主計兵曹、主計兵

一人  
一人(掌理兵高)

内令第八百六十一號

昭和十四年内令第九百八十號中「第三十三」ヲ削ル

昭和十五年内令第五十八號中伊號第五百二十二潜水艦ノ部ヲ削ル

同年内令第六十八號中「呂號第三十三潜水艦」ヲ削ル

同年内令第二百三十一號中「伊號第二百二十三潜水艦」ヲ削ル

昭和十三年内令第二百二十一號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1675

昭和三十二年內令第三百二十一號ハ伊號第五百五十二潜水艦ニ人員臨時増置ノ件  
昭和十四年內令第九百八十號ハ伊號第五百五十三潜水艦等ノ人員臨時増置ノ件  
昭和十五年內令第五十八號ハ伊號第五百五十二潜水艦等ニ人員臨時増置ノ件  
參照  
同年內令第六十八號ハ呂號第三十三潜水艦等ニ人員臨時増置ノ件  
同年內令第二百三十一號ハ伊號第三百二十一潜水艦等ノ人員臨時増置ノ件

內令第八百六十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八海軍工作部

造兵科佐尉官又ハ技師 部員 一人

技 手 附 臨時一人

內令第八百六十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

內令

一六七三

1676

内令

一六七四

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八艦隊司令部（東ニューギニアニ於ケル軍政處理ニ充ツベキモノ）

少將、大佐 附 一人（司政長官（臨時）ヲ以テ充ツルコトヲ得）

大中佐 附 三人（司政官（臨時）ヲ以テ充ツルコトヲ得）

軍醫大中佐 附 一人（司政官（臨時）ヲ以テ充ツルコトヲ得）

主計少佐 附 一人

主計科特務士官 附 一人（佐世保鎮守府在籍者）

司政官 附 臨時二人（士官ヲ以テ充ツルコトヲ得）

司政官、技師 附 臨時十三人

書記、通譯、技手 附 臨時六十二人

内令第八百六十四號

昭和十六年内令第四十六號別表吳鎮守府ノ部中吳海軍航空隊ノ項ノ前ニ

吳潜水艦基地隊

一 ヲ加ヘ飛鷹ノ項ヲ削ル

1677

同年内令第千四十七號別表第一佐世保鎮守府ノ部中呂號第六十五潜水艦及呂號第六十七潜水艦ノ項  
兵科分隊長ノ欄各「(乗組)一」並ニ第二十一潜水隊ノ項ヲ削ル  
昭和十七年十月五日  
海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令第千八百六十五號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一監視艇隊

第二監視艇隊

第三監視艇隊

機 關 兵 曹 一人(特修兵適宜)

内 令

一六七五

1678

内令

一六七六

内令第千八百六十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設砲艦第二日の丸

主計兵 一人

内令第千八百六十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十六航空戦隊司令部

機關兵費、機關兵 十人(特修兵適宜)

1679

内令第千八百六十八號

大正九年内令第二百七十三號中左ノ通改正ス

昭和十七年十月六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

曳船乗員標準中「第一〇〇八號、」ノ下ニ「第一〇〇九號、」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五六ノ三五頁参照)

内令

一六七七

1680



内令第千八百六十九號

驅逐隊編制中左ノ通改定セララル

昭和十七年十月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三十四驅逐隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第六十一驅逐隊 秋月、照月

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第千八百七十號

昭和十七年内令第九百十五號中「臨時十人」ヲ「臨時十一人」ニ改ム

昭和十七年十月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

兼照 前記内令ハ海軍運輸部ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令

一六七九

1681

内令

一六八〇

内令第千八百七十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横濱在勤海軍武官

兵 曹、水 兵

一人(掌信號兵)

内令第千八百七十二號

昭和十六年内令第五百八十八號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年十月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ馬公海軍通信隊(馬公海軍通信隊舊變分遣隊ニ充ツベキモノ)等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第千八百七十三號

昭和十七年内令第千六百六十七號中「第四艦隊司令部」ヲ「第八艦隊司令部」ニ改メ「本人員中特務

士官以下ハ横須賀鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス」ヲ削ル

昭和十七年十月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ第四艦隊司令部(救難船長浦ノ乗員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千八百七十四號

昭和十七年内令第七百九十六號中「吳鎮守府第五特別陸戰隊」ヲ削ル

昭和十七年十月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ須賀賀鎮守府第五特別陸戰隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千八百七十五號

昭和十七年内令第七百八十三號中「ぶらじる丸」ヲ削ル

昭和十七年十月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一六八一

1683

内  
令

参照 前記内令ハ特設運送船あるせんちな丸等ニ人員臨時増置ノ件

一六八二

1684

内令第千八百七十六號

昭和九年内令第四百十六號別冊艦艇、特務艦艇、機關使用限度標準表中別表ノ道改正ス  
別表ハ海軍省軍務局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十七年十月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千八百七十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十七年十月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

聯合艦隊司令部

兵 曹 水 兵

八人(特修兵適宜(暗號))(舞鶴鎮守府在籍者)

第二艦隊司令部

特務中少尉、兵曹長 附

一人

内令

一六八三

1685

内令

一六八四

兵 曹、水 兵

八人(特修兵適宜(暗號))

第三艦隊司令部

兵 曹、水 兵

六人(特修兵適宜(暗號))

第八艦隊司令部

特務中少尉、兵曹長 附

一人

減員

第四艦隊司令部

兵 曹、水 兵

八人(特修兵適宜(暗號))

内令第千八百七十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艦明石

兵 曹、水 兵

二人(掌電信兵)

1686

内令第千八百七十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第五百五十號中「十一人」ヲ「九人」ニ、「高三」ヲ「高二」ニ、「普六」ヲ「普五」ニ改ム

昭和十七年十月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

基隆在勤海軍武官

兵 曹、水 兵

二人(掌電信兵)

参照 昭和十六年内令第五百五十號ハ臺北在勤海軍武官府ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千八百八十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内 兵

一六八五

1687

内令

一六八六

第一百海軍燃料廠

看護兵曹、看護兵

三人

内令第千八百八十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一港務部

看護兵曹、看護兵

一人

第四港務部

兵 曹、水 兵

五人(掌信號兵 二)

内令第千八百八十二號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1688





内令第千八百八十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴海軍航空隊(峯山航空基地ノ保守員ニ充ツベキモノ)

兵 曹、水 兵 一人(掌電信兵)

機關兵曹、機關兵 一人(掌電機兵)

水兵、整備兵、機關兵 三人

内令第千八百八十六號

昭和十七年内令第千八百十八號中「飛行兵曹(教員) 三人(囑託ヲ以テ代フルコトヲ得)」ヲ

「兵 曹、水 兵 五十人(掌砲兵)

横須賀鎮守府在籍者  
吳鎮守府在籍者  
佐世保鎮守府在籍者  
舞鶴鎮守府在籍者

一七二五

ニ改ム

飛行兵曹(教員) 三人(囑託ヲ以テ代フルコトヲ得)

内令

一六八九

1689

内令

六三九〇

昭和十七年十月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ假ケ浦海軍航空隊(一〇〇二部隊基礎員養成ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千八百八十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

父島海軍航空隊

兵 曹、水 兵

六人(掌帆兵 高船二)

機關兵曹、機關兵

六人(掌内火兵 高一)

内令第千八百八十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十五年内令第五十一號中横須賀鎮守府第四特別陸戰隊ノ部「六人」ヲ「五人」ニ改ム

同年内令第五百五十五號中「横須賀鎮守府第四特別陸戰隊」ヲ削ル  
昭和十七年十月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第六根據地隊司令部

兵科特務士官、准士官 附

十二人

兵 曹、水 兵

四百五十八人

機關兵曹、機關兵

六人

工作兵曹、工作兵

四人

看護兵曹、看護兵

五人

主計兵曹、主計兵

十五人

本人員ハ横須賀鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス

減員

横須賀鎮守府第四特別陸戰隊

内令

一六九

1691

内令

一六九二

兵科特務士官、准士官 隊附 六人  
兵 曹、水 兵 二百三十九人  
工作兵費、工作兵 四人

内令第千八百八十九號  
當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス  
昭和十七年十月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍令部

大 中 佐 出仕兼 課長 一人

内令第千八百九十號  
昭和十六年内令第六百五十四號中左ノ通改正ス  
昭和十七年十月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1692

人員ヲ左ノ如ク改ム

高等文官 附 一人(部外者)

参照 前記内令ハ支那方面艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千八百九十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳海軍軍需部

技 手 附 臨時一人(兼第三海軍燃料廠附)

内令

一六九三

1693

内令第千八百九十二號

當分ノ間左ノ地ニ佐世保海軍工廠ノ分工場ヲ置ク其ノ呼稱及分掌事項左ノ通定ム

昭和十七年十月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

分工場ヲ置ク地	呼	稱	分	掌	事	項
長崎縣東彼杵郡川棚町	佐世保海軍工廠川棚分工場		水雷兵器ノ造修ニ關スル事項			
備	本分工場ハ佐世保海軍工廠直屬トシ其ノ分工場内ニ於ケル區分等ニ關シテハ佐世保海軍工					
考	廠長ノ定ムル所ニ依ル					

附則

本令ハ昭和十七年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

内令第千八百九十三號

ニューギニア民政府令左ノ通定メラル

昭和十七年十月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一六九五

ニューギニア民政府令

第一條 西ニューギニア占領地ニニューギニア民政府ヲ置ク

第二條 ニューギニア民政府ハ南西方面艦隊ニ屬シ西部ニキリギニアニ於ケル占領地行政其ノ他海

軍關係要務ニ關スルコト及ニューギニア全島ニ亙リ綜合處理スベキ事項ニ關スルコトヲ掌ル

第三條 ニューギニア民政府ニ官房、開拓局、衛生局及調査局ヲ置キ官房ニ祕書課及政務課ヲ、開

拓局ニ總務課、財務課、鑛産課、農林課、水産課、交通土木課、通信課、商工課、海運課及物動

課ヲ、衛生局ニ防疫課及醫務課ヲ、調査局ニ企畫課及指導課ヲ置ク

其ノ事務ノ分掌ハ海軍大臣之ヲ定ム

第四條 ニューギニア民政府ニ左ノ職員ヲ置ク

總監

官房長

局長

課長

局員

附

第五條 總監ハ南西方面艦隊司令長官ニ隸シ府務ヲ統理ス但シニューギニア全島ニ亘リ綜合處理ヲ

要スベキ事項中東部ニユーギニアニ關スル事項ニ關シテハ第八艦隊司令長官ノ區處ヲ承ク

第六條 總監ハ占領地行政ニ關シ必要ナル命令ヲ發ス

前項ノ命令ヲ發シタルトキハ總監ハ之ヲ海軍大臣及南西方面艦隊司令長官ニ報告スベシ

第七條 總監占領地行政ニ關シ重大ナル處理ヲ必要トスルトキハ豫メ南西方面艦隊司令長官ノ認可

ヲ受クベシ但シ事急ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ事後速ニ之ヲ南西方面艦隊司令

長官ニ報告スルモノトス

第八條 總監缺員中又ハ事故アルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス但シ南西方面艦隊

司令長官特ニ代理者ヲ置キタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 官房長ハ總監ノ命ヲ承ケ官房ノ事務ヲ掌理ス

第十條 局長ハ總監ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十一條 課長ハ官房長又ハ局長ノ命ヲ承ケ各課ノ事務ヲ掌理ス

第十二條 官房長、局長又ハ課長缺員中又ハ事故アルトキハ夫々首席ノ課長又ハ局員其ノ職務ヲ代

内令

一六九七

1696



理ス

第十三條 局員ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十四條 附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十五條 ニューギニア政府ノ定員ハ別表ニ依ル

附、則

南西方面艦隊民政府令第二條中「小スンダ列島及西部ニューギニア」ヲ「及小スンダ列島」ニ改ム

南西方面艦隊民政府令第二條中「チモール及西部ニューギニア」ヲ「及チモール」ニ改ム

(別表一葉添)

内令第千八百九十四號

西ニューギニア民政部令左ノ通定メラル

昭和十七年十月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

西ニューギニア民政部令

1697

(別表)

ニューギニア政府定員表

(昭和十七年内令第千八百九十三號)

考 備	合 計	(官 長 政 司) 監															總	
		局査調		局生衛		局 拓 開										房 官		
		長 司主大 政計大 長官佐 一		長 司軍軍 政醫醫 長長少 官官將 一		長 司政長 官一										長 司大 政官 佐一		
		指 導 課	企 畫 課	醫 務 課	防 疫 課	物 動 課	海 運 課	商 工 課	通 信 課	交 通 土 木 課	水 産 課	農 林 課	鑛 産 課	財 務 課	總 務 課	政 務 課		祕 書 課
		長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 軍 醫 中 佐 一	長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 政 官 一	長 司 主 計 中 佐 一	長 司 政 官 一	長 司 中 政 官 佐 一		長 司 政 官 一
局 技 司 政 師 官 二		局 技 司 政 師 官 二		局 技 司 政 師 官 十二										局 司 政 官 二				
附 通 技 書 譯 手 記 七																		

百九人

一 司政長官又ハ司政官ハ必要ニ應ジ士官又ハ他ノ勅任若ハ奏任文官ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得  
二 海軍大臣ハ必要ニ應ジ本表ノ定員ヲ臨時増減スルコトヲ得